

会計区分	01	一般会計		令和 6 年度 事務事業調書							事業主体	11010000	企画課 企画係		
大事業 C D	01	(目標)		—				中事業 C D	14	(施策)		—			
		(政策)		—						(主要な取り組み)		—			
小事業 C D	01	消費者行政事業					事業年度	R03 ~ R12	成果目標	☐ 成果目標がある		成果指標	—		
款項目	02	総務費	01	総務管理費	01	一般管理費	小事業区分	新規・継続		☒ 成果目標がない		目標値	—		目標年度

(単位：千円)

	R 0 6 年度 予算要求額	当 該 年 度 の 事 業 詳 細 等	前年度(05 年度) 当初予算額	04年度 決算額
○ 経 費 計	1,218	美濃加茂市、坂祝町、富加町、川辺町で消費者窓口（美濃加茂市役所内に設置）の相談員経費を按分して負担する。	1,112	1,050
1 報酬				
2 ～4給料手当等				
5 災害補償費				
7 報償費				
8 旅費				
9 交際費				
10 需用費				
1 消耗品費				
2 燃料費				
3 食糧費				
4 印刷製本費				
5 光熱水費				
6 修繕料				
その他				
11 役務費				
12 委託料				
13 使賃料				
14 工事請負費				
15 原材料費				
16 公財購				
17 備品購入費				
18 負補交	1,218		1,112	1,050
19 扶助費				
20 貸付金				
21 補てん賠				
22 償利割				
23 投資出資金				
24 積立金				
25 寄附金				
26 公課費				
27 繰出金				

○ 財 源 計	1,218	基準額・補助率・歳入科目コード等	1,112	
1 国庫支出金				
2 県支出金	108		90	
3 町債				
4 その他特財				
5 一般財源	1,110		1,022	

事業の目的（何をどのような状態にしたいのか）			
【★ 7 次総 4404】（防犯・交通安全）「消費者相談の受入体制の整備」			
近年、消費者被害が目立ってきており被害内容も多様化している中、消費者への情報提供の充実や消費者相談体制の整備を行うことで、消費生活トラブルから消費者の保護に努める。			
事業の概要			
定住自立圏構想の一環として、美濃加茂市と坂祝町、富加町、川辺町の合同で広域消費生活相談窓口を設置する。 また、未然に被害を防ぐため情報提供を積極的に活用する。 （平成 2 4 年 1 月に美濃加茂市と坂祝町、富加町、川辺町の合同で、美濃加茂市の相談室を広域消費生活相談窓口として開設した。）			
事業の実績			
美濃加茂市の相談員と市町の担当者との情報共有会議を定期的に行っている。 R04年度 町民からの相談件数 1 8 件／2 7 3 件（匿名含む） R03年度 町民からの相談件数 2 7 件／2 6 6 件（匿名含む） R02年度 町民からの相談件数 1 3 件／2 5 3 件（匿名含む）			
事業の成果指標		事業の目標値	
		単位	
		R06 年度末	
		R07 年度末	
		R08 年度末	
R06 年度の到達目標（課題・改善策等）			
広域消費生活相談窓口の周知及び消費者被害防止啓発活動の実施			

事務事業評価の結果（1 次）	—	R06 年度の計画額	0	千円
事務事業評価の結果（2 次）	—	R06 年度の上限額	0	千円
<特記事項>				

【評価】 A 拡充・重点化 B 計画の承認 C 見直し・縮小 D 整理・統合 E 休止・廃止 — 評価なし

会計区分	01	一般会計		令和 6 年度 事務事業調書						事業主体	11010000	企画課 企画係			
大事業 C D	02	(目標)	—					中事業 C D	01	(施策)	—				
		(政策)	—							(主要な取り組み)	—				
小事業 C D	01	花づくり事業				事業年度	R03 ～ R12		成果目標	☐ 成果目標がある		成果指標	—		
款項目	02	総務費	01	総務管理費	08	企画費	小事業区分	新規・継続		☒ 成果目標がない		目標値	—	目標年度	—

(単位：千円)

	R 0 6 年度 予算要求額	当 該 年 度 の 事 業 詳 細 等	前年度(05 年度) 当初予算額	04年度 決算額
○ 経 費 計	400	花づくりを行う団体に年間上限40,000円を補助する。	400	252
1 報酬				
2 ～4給料手当等				
5 災害補償費				
7 報償費				
8 旅費				
9 交際費				
10 需用費				
1 消耗品費				
2 燃料費				
3 食糧費				
4 印刷製本費				
5 光熱水費				
6 修繕料				
その他				
11 役務費				
12 委託料				
13 使賃料				
14 工事請負費				
15 原材料費				
16 公財購				
17 備品購入費				
18 負補交	400		400	252
19 扶助費				
20 貸付金				
21 補てん賠				
22 償利割				
23 投資出資金				
24 積立金				
25 寄附金				
26 公課費				
27 繰出金				

○ 財 源 計	400	基準額・補助率・歳入科目コード等	400	
1 国庫支出金				
2 県支出金				
3 町債				
4 その他特財				
5 一般財源	400		400	

事業の目的（何をどのような状態にしたいのか）			
【★ 7次総 4102】（環境・景観）「豊かな自然環境を活かした景観軸の形成」			
自然環境がわたしたちにもたらす多面的な効果を理解し、自然環境を守るための意識啓発や環境保全活動の全庁的な活性化を図る。			
事業の概要			
シニアクラブなどの団体による「花いっぱい運動」などの自主的な緑化や環境美化の取り組みを支援するため、花苗、肥料などに要する費用を助成する。			
事業の実績			
04年度実績 支給団体 7団体/目標指標 10団体 (加茂山二丁目自治会、加茂山シニアクラブ、花茂山ガーデン、花友隊、見城寺花の会、身体障害者福祉協会坂祝分会、深萱シニアクラブ)			
03年度実績 支給団体 7団体/目標指標 10団体 (加茂山二丁目自治会、加茂山シニアクラブ、花茂山ガーデン、花友隊、見城寺花の会、身体障害者福祉協会坂祝分会、深萱シニアクラブ)			
事業の成果指標		事業の目標値	
		単位	
		R06 年度末	
		R07 年度末	
		R08 年度末	
R06 年度の到達目標(課題・改善策等)			
支給団体 10団体			

事務事業評価の結果(1 次)	—	R06 年度の計画額	0 千円
事務事業評価の結果(2 次)	—	R06 年度の上限額	0 千円
<特記事項>			

【評価】 A 拡充・重点化 B 計画の承認 C 見直し・縮小 D 整理・統合 E 休止・廃止 ー 評価なし

会計区分	01	一般会計		令和 6 年 度 事 務 事 業 調 書							事業主体	11010000	企画課 企画係		
大事業 C D	03	(目標)	-					中事業 C D	15	(施策)	-				
		(政策)								(主要な取り組み)					
小事業 C D	01	公共交通事業				事業年度	R03 ~ R12		成果目標	■ 成果目標がある	成果指標	バスの利用者数(人)			
款項目	02	総務費	01	総務管理費	08	企画費	小事業区分	新規・継続		□ 成果目標がない	目標値	22, 000	目標年度	令和12年度	

(単位：千円)

	R 0 6 年度 予算要求額	当 該 年 度 の 事 業 詳 細 等	前年度(05 年度) 当初予算額	04年度 決算額
○ 経 費 計	13, 863	消耗品費はほぎもんバス運行に係るタイヤなどの諸経費を令和	12, 827	9, 888
1 報酬	28	5年度実績により増額となりました。	28	24
2 〜4給料手当等		燃料費において、原油高騰により増額となりました。		
5 災害補償費				
7 報償費		また、委託料では、令和6年度バス運行業務委託料の契約年度		
8 旅費	14	(3年契約の3年目) となり、9月に更新予定です。現タクシ	14	7
9 交際費		一会社では運転手確保のためには賃上げが必要との事で、増額		
10 需用費	2, 432	となりました。	1, 969	1, 520
1 消耗品費	496		346	
2 燃料費	1, 836		1, 523	1, 520
3 食糧費				
4 印刷製本費				
5 光熱水費				
6 修繕料	100		100	
その他				
11 役務費				
12 委託料	9, 357		8, 784	8, 337
13 使賃料	2, 032		2, 032	
14 工事請負費				
15 原材料費				
16 公財購				
17 備品購入費				
18 負補交				
19 扶助費				
20 貸付金				
21 補てん賠				
22 償利割				
23 投資出資金				
24 積立金				
25 寄附金				
26 公課費				
27 繰出金				

○ 財 源 計	13, 863	基準額・補助率・歳入科目コード等	12, 827	
1 国庫支出金				
2 県支出金				
3 町債				
4 その他特財	2		1	
5 一般財源	13, 861		12, 826	

事業の目的（何をどのような状態にしたいのか）	
【★7次総 5104】（道路・公共交通）「効率的な公共交通の実施」	
さまざまな年代やライフスタイルに応じた、誰もが利用しやすいバス運行を実施する。 町の公共交通について検討する。	
事業の概要	
地域における需要に応じた住民の生活に必要なバス等の旅客運輸の確保その他旅客の利便の増進を図り、地域の実情に即した輸送サービスの実現に向けて必要となる事項を協議する	
ほぎもんバス・美濃加茂方面行きバスを2ルートで運行。 令和5年度からバスの管理を総務課から企画課へ事務移管。	
事業の実績	
R4：公共交通会議 1回開催	
4年度実績	コミュニティバス利用人数 9, 480人
3年度実績	コミュニティバス利用人数 10, 970人
2年度実績	コミュニティバス利用人数 11, 208人
1年度実績	コミュニティバス利用人数 20, 417人
事業の成果指標	
コミュニティバスの延べ利用人数	事業の目標値
	単位 人／年度
	R06 年度末 20, 000
	R07 年度末 20, 000
R08 年度末	
R06 年度の到達目標(課題・改善策等)	

事務事業評価の結果(1次)	—	R06年度の計画額	0 千円
事務事業評価の結果(2次)	—	R06年度の上限額	0 千円
<特記事項>			

【評価】 A拡充・重点化 B計画の承認 C見直し・縮小 D整理・統合 E休止・廃止 ー評価なし

会計区分	01	一般会計	令和 6 年度 事務事業調書						事業主体	11010000	企画課 企画係				
大事業 C D	31	(目標)	—						中事業 C D	02	(施策)	—			
		(政策)	—								(主要な取り組み)	—			
小事業 C D	01	商工会育成事業					事業年度	R03 ~ R12							
款項目	06	商工費	01	商工費	02	商工観光振興費	小事業区分	新規・継続	成果目標	☐ 成果目標がある	成果指標	—			
									☒ 成果目標がない	目標値	—	目標年度	—		

	R O 6 年度 予算要求額	当 該 年 度 の 事 業 詳 細 等	前年度(05 年度) 当初予算額	04年度 決算額
○ 経 費 計	4,000	坂祝町商工会へ補助金を交付する	4,000	4,000
1 報酬		4,000,000円		
2 〜4給料手当等				
5 災害補償費				
7 報償費				
8 旅費				
9 交際費				
10 需用費				
1 消耗品費				
2 燃料費				
3 食糧費				
4 印刷製本費				
5 光熱水費				
6 修繕料				
その他				
11 役務費				
12 委託料				
13 使賃料				
14 工事請負費				
15 原材料費				
16 公財購				
17 備品購入費				
18 負補交	4,000		4,000	4,000
19 扶助費				
20 貸付金				
21 補てん賠				
22 償利割				
23 投資出資金				
24 積立金				
25 寄附金				
26 公課費				
27 繰出金				

○ 財 源 計	4,000	基準額・補助率・歳入科目コード等	4,000	
1 国庫支出金				
2 県支出金	51	商工会の設立許可等事務交付金	37	
3 町債				
4 その他特財				
5 一般財源	3,949		3,963	

事業の目的（何をどのような状態にしたいのか）			
【★7次総 3202】（商工業）「商工会のネットワークの形成支援」			
商業では近隣の大規模ショッピングセンターなどに買い物客が流れており、町内の小規模な商店などでは事業の継続が難しくなっている。 産業はまちの活力の源ともいえる重要な役割を果たしており、町内に立地する既存の企業の安定的な経営を支援する必要がある。さらに、近年では雇用環境も悪化していることから、若年者や高齢者、障がい者、女性など、多様な人材の就労へ向けた支援を行う必要がある。			
事業の概要			
商工会育成補助金を継続して実施し、商工会の活動を支援することで商工業の育成と連携の強化を促進する。			
事業の実績			
04年度末	商工会会員数	160件	
03年度末	商工会会員数	161件	
02年度末	商工会会員数	164件	
元年度末	商工会会員数	143件	
30年度末	商工会会員数	140件	
29年度末	商工会会員数	147件	
事業の成果指標		事業の目標値	
		単位	
		R06 年度末	
		R07 年度末	
		R08 年度末	
R06 年度の到達目標(課題・改善策等)			

事務事業評価の結果(1 次)	—	R06 年度の計画額	0 千円
事務事業評価の結果(2 次)	—	R06 年度の上限額	0 千円
<特記事項>			

【評価】 A 拡充・重点化 B 計画の承認 C 見直し・縮小 D 整理・統合 E 休止・廃止 — 評価なし

会計区分	01	一般会計	令和 6 年度 事務事業 調書							事業主体	11010000	企画課 企画係		
大事業 C D	32	(目標)	—					中事業 C D	01	(施策)	—			
		(政策)	—							(主要な取り組み)	—			
小事業 C D	01	観光振興事業					事業年度	R03 ~ R12	成果目標	☐ 成果目標がある	成果指標	—		
款項目	06	商工費	01	商工費	02	商工観光振興費	小事業区分	新規・継続		☒ 成果目標がない	目標値	—	目標年度	—

(単位：千円)

	R 0 6 年度 予算要求額	当 該 年 度 の 事 業 詳 細 等	前年度(05 年度) 当初予算額	04年度 決算額
○ 経 費 計	1,650	観光PR用の消耗品の購入	200	243
1 報酬		マスコットキャラクター着ぐるみの管理		
2 ～4給料手当等		修繕、クリーニング等		
5 災害補償費		駅前観光案内看板用の借地料 20,000円／年		
7 報償費				
8 旅費		※AEDは水上安全協議会が木曽川観光、YHAラフティングの事務		
9 交際費		所に設置予定。管理も協議会が実施していく。		
10 需用費	749		122	223
1 消耗品費	134		112	
2 燃料費		R6から以下の事業の予算を「観光振興事業」として集約		
3 食糧費		・ 320201商工観光振興事業		
4 印刷製本費	605	・ 320501商工観光広域連携事業		223
5 光熱水費		・ 511510商工観光総務事業		
6 修繕料	10		10	
その他				
11 役務費	95		58	
12 委託料	110			
13 使賃料			20	20
14 工事請負費	271			
15 原材料費				
16 公財購				
17 備品購入費				
18 負補交	425			
19 扶助費				
20 貸付金				
21 補てん賠				
22 償利割				
23 投資出資金				
24 積立金				
25 寄附金				
26 公課費				
27 繰出金				

○ 財 源 計	1,650	基準額・補助率・歳入科目コード等	200	
1 国庫支出金				
2 県支出金				
3 町債				
4 その他特財				
5 一般財源	1,650		200	

事業の目的（何をどのような状態にしたいのか）			
【★ 7次総 3301】（観光）「観光情報の発信」 【★ 7次総 3304】（観光）「観光事業の広域的な連携の強化」 【★ 7次総 6506】（行政運営）「近隣市町村との連携強化」			
各種広報媒体を活用し、町の観光資源に関する情報発信を行うことにより、坂祝町を広くアピールし来訪者数の増加による地域の活性化を図る。			
事業の概要			
イベント等において観光パンフレットの配布を行い、町の観光資源に関する情報発信を行う。			
事業の実績			
令和4年度	パンフレット配布部数	4,312部	／ 目標指数 1,400部
令和3年度	パンフレット配布部数	6,710部	／ 目標指数 1,400部
令和2年度	パンフレット配布部数	1,300部	／ 目標指標 1,400部
令和元年度	パンフレット配布部数	1,300部	／ 目標指標 1,400部
平成30年度	パンフレット配布部数	1,300部	／ 目標指標 1,400部（リニューアル後）
平成29年度	パンフレット配布部数	1,000部	／ 目標指標 1,400部
平成28年度	パンフレット配布部数	1,300部	／ 目標指標 1,400部
平成26年度	パンフレット配布部数	1,300部	／ 目標指標 1,400部
事業の成果指標		事業の目標値	
		単位	
		R06 年度末	
		R07 年度末	
		R08 年度末	
R06年度の到達目標(課題・改善策等)			

事務事業評価の結果（1 次）	—	R06 年度の計画額	0 千円
事務事業評価の結果（2 次）	—	R06 年度の上限額	0 千円
<特記事項>			

【評価】 A 拡充・重点化 B 計画の承認 C 見直し・縮小 D 整理・統合 E 休止・廃止 — 評価なし

会計区分	01	一般会計	令和 6 年 度 事 務 事 業 調 書							事業主体	11010000	企画課 企画係			
大事業 C D	32	(目標)	-					中事業 C D	01	(施策)	-				
		(政策)								(主要な取り組み)					
小事業 C D	02	移住定住事業					事業年度	R03 ~ R12	成果目標	■ 成果目標がある	成果指標	空き家を活用した事業主等の誘致件数			
款項目	02	総務費	01	総務管理費	08	企画費	小事業区分	新規・継続		□ 成果目標がない	目標値	2	目標年度	令和12年度	

(単位：千円)

	R 0 6 年度 予算要求額	当 該 年 度 の 事 業 詳 細 等	前年度(05 年度) 当初予算額	04年度 決算額
○ 経 費 計	1,000	東京圏からの移住支援事業費補助金	1,000	0
1 報酬		空き家改修支援補助金		
2 〜4給料手当等		清流の国ぎふ移住支援補助金		
5 災害補償費				
7 報償費		東京圏からの移住支援補助金は申請時（年度当初）補正等で予算確保を確約すれば、補正対応で良いとの返答が県からあり。		
8 旅費		実績がないため、補正対応事業とする。		
9 交際費				
10 需用費				
1 消耗品費		空き家改修補助金は産業建設課の空き家取り壊し補助金と関連があるため1件当初予算で計上します。		
2 燃料費				
3 食糧費				
4 印刷製本費		清流の国ぎふ移住支援補助金は、5年度に2件の実績があったため実績値で予算計上します。		
5 光熱水費				
6 修繕料				
その他				
11 役務費		県が行う清流の国ぎふ移住支援補助金を県内市町村が実施し/2を県が持つようになった。		
12 委託料		・5年以上県外に在住。		
13 使賃料		・申請の日から5年以上継続して県内に居住する意思があること		
14 工事請負費		・転勤、出向、出張、研修等による勤務地の変更でないこと		
15 原材料費		など		
16 公財購				
17 備品購入費				
18 負補交	1,000		1,000	
19 扶助費				
20 貸付金				
21 補てん賠				
22 償利割				
23 投資出資金				
24 積立金				
25 寄附金				
26 公課費				
27 繰出金				

○ 財 源 計	1,000	基準額・補助率・歳入科目コード等	1,000	
1 国庫支出金	250			
2 県支出金	250		500	
3 町債				
4 その他特財				
5 一般財源	500		500	

事業の目的（何をどのような状態にしたいのか）			
【★7次総 3201】（商工業）「空き家を活用した企業誘致」 【★7次総 5202】（住宅、移住・定住）「新しく人を呼び込む基盤の整備」			
(1) 対象…①町内に空き家を所有している所有者 ②町外で空き家の活用を希望する希望者（特に若者及び家族世帯を対象とする）			
(2) 手段…①チラシ等で空き家バンクへの登録をPRする ②HPでの周知や移住定住フェア等に参加し空き家を紹介する			
(3) 意図…①空き家バンクに登録することによって空き家を活用してすることができる ②人口が増加する			
(4) 結果…①町内に存在する空き家を減らすことができる ②人口増加につながる			
事業の概要			
平成31年4月～空き家バンク（HP）を開設した。			
事業の実績			
R 0 4 年度空き家登録…1 件 R 0 3 年度空き家登録…0 件 R 0 2 年度空き家登録…1 件（成立） R 0 1 年度空き家登録…0 件			
事業の成果指標		事業の目標値	
空き家を活用して誘致した事業主等の数		単位 件	
		R06 年度末	1
		R07 年度末	1
		R08 年度末	
R06 年度の到達目標（課題・改善策等）			
空き家登録…3 件 【課題】空き家バンクに登録するメリットがないように感じられる。（空き家改修補助金を設置するなど）			

事務事業評価の結果（1 次）	—	R06 年度の計画額	0 千円
事務事業評価の結果（2 次）	—	R06 年度の上限額	0 千円
<特記事項>			

【評価】 A 拡充・重点化 B 計画の承認 C 見直し・縮小 D 整理・統合 E 休止・廃止 ー 評価なし

会計区分	01	一般会計		令和 6 年 度 事 務 事 業 調 書						事業主体	11010000	企画課 企画係		
大事業 C D	32	(目標)	—					中事業 C D	03	(施策)	—			
		(政策)	—							(主要な取り組み)	—			
小事業 C D	01	イベント事業				事業年度	R03 ~ R12	成果目標	☐ 成果目標がある	成果指標	—			
款項目	02	総務費	01	総務管理費	08	企画費	小事業区分		新規・継続	☒ 成果目標がない	目標値	—		目標年度

(単位：千円)												
	R 0 6 年度 予算要求額	当 該 年 度 の 事 業 詳 細 等					前年度(05 年度) 当初予算額	04年度 決算額				
○ 経 費 計	5, 643	町民まつり実行委員会補助金 3, 500, 000円					5, 654	5, 187				
1 報酬		その他、FC岐阜イベント経費、職員時間外手当										
2 〜4給料手当等	491						544	338				
5 災害補償費		花火事業 1, 500, 000円										
7 報償費												
8 旅費												
9 交際費												
10 需用費	152	※しあわせまちづくり基金の一部、ふるさと振興基金96, 034, 6					110	48				
1 消耗品費	152	62円分(H31. 3. 31現在残高) から、夏祭り及び、町民まつり、					110	48				
2 燃料費		町制○周年式典事業（50年毎以外）の経費に充てる。原資がな										
3 食糧費		くなる前（3年前を目安に）までに、その後の事業継続につい										
4 印刷製本費		ての方針を定める。										
5 光熱水費												
6 修繕料												
その他												
11 役務費												
12 委託料	1, 500						1, 500	1, 500				
13 使賃料												
14 工事請負費												
15 原材料費												
16 公財購												
17 備品購入費												
18 負補交	3, 500						3, 500	3, 301				
19 扶助費												
20 貸付金												
21 補てん賠												
22 償利割												
23 投資出資金												
24 積立金												
25 寄附金												
26 公課費												
27 繰出金												

○ 財 源 計	5, 643	基準額・補助率・歳入科目コード等	5, 654	
1 国庫支出金				
2 県支出金				
3 町債				
4 その他特財	5, 000	しあわせまちづくり基金繰入金 他	5, 000	
5 一般財源	643		654	

事業の目的（何をどのような状態にしたいのか）		
【★7次総 3302】（観光）「魅力あるイベントの開催」		
町民まつりをはじめとする、町内の各種イベントについて、より魅力的な内容とし、来場者の増加及び地域住民の思い 出となるイベントを開催することにより、地域への愛着を醸成する。		
事業の概要		
町民まつりを開催する実行委員会への補助を行う。冬花火事業の実施。 町内の各種イベントについて、より魅力的なイベント内容となるように検討する。 令和3年10月の夏祭り実行委員会において解散となる。		
事業の実績		
令和4年度	観光入込客数 17, 809人	／目標指数 10, 000人/年
令和3年度	町民まつり、さかほぎ冬花火、FC岐阜ホームタウンデー開催 観光入込客数 11, 683人	／目標指数 10, 000人/年
令和2年度	町民まつり出店町内企業・業者 中止 観光入込客数 8, 297人	／目標指数 10, 000人/年
令和元年度	町民まつり出店町内企業・業者 中止 観光入込客数 11, 814人	／目標指数 20, 000人/年（町民プール運営中止により入込客数減）
町民まつり出店町内企業・業者	8団体	
事業の成果指標		事業の目標値
		単位
		R06 年度末
		R07 年度末
		R08 年度末
R06 年度の到達目標（課題・改善策等）		
坂祝町の魅力を発信し、足を運んでもらうようアイデアをだす。		

事務事業評価の結果（1 次）	—	R06 年度の計画額	0 千円
事務事業評価の結果（2 次）	—	R06 年度の上限額	0 千円
<特記事項>			

【評価】 A 拡充・重点化 B 計画の承認 C 見直し・縮小 D 整理・統合 E 休止・廃止 — 評価なし

会計区分	01	一般会計		令和 6 年 度 事 務 事 業 調 書							事業主体	11010000	企画課 企画係			
大事業 C D	32	(目標)	-					中事業 C D	04	(施策)	-					
		(政策)								(主要な取り組み)						
小事業 C D	01	猿ばみ城展望台周辺整備事業					事業年度	R03 ~ R12		成果目標	■ 成果目標がある		成果指標	猿ばみ城展望台への登山者数		
款項目	06	商工費	01	商工費	02	商工観光振興費	小事業区分	新規・継続			□ 成果目標がない		目標値	12, 000	目標年度	令和12年度

(単位：千円)

	R 0 6 年度 予算要求額	当 該 年 度 の 事 業 詳 細 等	前年度(05 年度) 当初予算額	04年度 決算額
○ 経 費 計	321	城山の登山道にかかる経費	175	120
1 報酬		消耗品、トイレ汲み取り料、借地料		
2 〜4給料手当等				
5 災害補償費		※登山道整備は引き続き森林環境税事業にて行う		
7 報償費				
8 旅費		猿ばみ城展望台を建築して27年目。利用者の安全を図るため総		
9 交際費		点検を実施するため点検委託料を増額しました。		
10 需用費	55		55	13
1 消耗品費	20		20	11
2 燃料費				
3 食糧費				
4 印刷製本費				
5 光熱水費	5		5	2
6 修繕料	30		30	
その他				
11 役務費	25		25	17
12 委託料	201		55	50
13 使賃料	40		40	40
14 工事請負費				
15 原材料費				
16 公財購				
17 備品購入費				
18 負補交				
19 扶助費				
20 貸付金				
21 補てん賠				
22 償利割				
23 投資出資金				
24 積立金				
25 寄附金				
26 公課費				
27 繰出金				

○ 財 源 計	321	基準額・補助率・歳入科目コード等	175	
1 国庫支出金				
2 県支出金				
3 町債				
4 その他特財				
5 一般財源	321		175	

事業の目的（何をどのような状態にしたいのか）		
【★7次総 3303】（観光）「観光施設の整備・管理」		
町の観光資源である猿ばみ城展望台や、登山道は一年を通じ町内外の住民に利用されている。利用者数は年々増加しており、その観光資源を地域との連携のもと整備することで、今後も観光資源としての利用を促し、交流人口の増加及び住民の地域への誇りや愛着を醸成する。		
事業の概要		
登山道周辺（簡易トイレ・看板等）の管理を行う。 地域で行われる登山道整備に参加・協力する。		
事業の実績		
令和4年度実績 11月27日地域住民との登山道整備、1月1日元旦登山（新型コロナウイルス感染症の影響により中止）簡易トイレ汲取り ほか 令和3年度 11月21日地域住民との登山道整備、1月1日元旦登山（新型コロナウイルス感染症の影響により中止）簡易トイレ汲取り ほか 令和2年度 11月22日地域住民との登山道整備、1月1日元旦登山（新型コロナウイルス感染症の影響により中止）9月・2月簡易トイレ汲取り ほか 令和元年度 11月24日地域住民との登山道整備、1月1日元旦登山 ほか		
事業の成果指標	事業の目標値	
猿ばみ城展望台への登山者数	単位	人／年度
	R06 年度末	11,500
	R07 年度末	11,500
	R08 年度末	
R06年度の到達目標(課題・改善策等)		

事務事業評価の結果(1次)	—	R06年度の計画額	0	千円
事務事業評価の結果(2次)	—	R06年度の上限額	0	千円
<特記事項>				

【評価】 A 拡充・重点化 B 計画の承認 C 見直し・縮小 D 整理・統合 E 休止・廃止 — 評価なし

会計区分	01	一般会計		令和 6 年 度 事 務 事 業 調 書							事業主体	11010000	企画課 企画係			
大事業 C D	32	(目標)		—				中事業 C D	05	(施策)		—				
		(政策)		—						(主要な取り組み)		—				
小事業 C D	01	商工観光広域連携事業					事業年度	R03 ~ R12		成果目標	☐ 成果目標がある		成果指標	—		
款項目	06	商工費	01	商工費	01	商工観光総務費	小事業区分	新規・継続			☒ 成果目標がない			目標値	—	目標年度

(単位：千円)													
	R 0 6 年度 予算要求額	当 該 年 度 の 事 業 詳 細 等					前年度(05 年度) 当初予算額	04年度 決算額					
○ 経 費 計	0	R6から「320101観光振興事業」で予算を集約して計上					20	70					
1 報酬													
2 〜4給料手当等													
5 災害補償費													
7 報償費													
8 旅費													
9 交際費													
10 需用費													
1 消耗品費													
2 燃料費													
3 食糧費													
4 印刷製本費													
5 光熱水費													
6 修繕料													
その他													
11 役務費													
12 委託料													
13 使賃料													
14 工事請負費													
15 原材料費													
16 公財購													
17 備品購入費													
18 負補交							20	70					
19 扶助費													
20 貸付金													
21 補てん賠													
22 償利割													
23 投資出資金													
24 積立金													
25 寄附金													
26 公課費													
27 繰出金													

○ 財 源 計	0	基準額・補助率・歳入科目コード等	20	
1 国庫支出金				
2 県支出金				
3 町債				
4 その他特財				
5 一般財源			20	

事業の目的（何をどのような状態にしたいのか）			
【★ 7 次総 3304】（観光）「観光事業の広域的な連携の強化」 【★ 7 次総 6506】（行政運営）「近隣市町村との連携強化」			
坂祝町の観光資源は、他地域と比べると少ないため、他地域と広域的に観光行政を連携し内外に向け情報発信を行う。			
事業の概要			
中山道連合等に負担金を支出して、広域的な観光行政の連携・推進を行う。また、各イベントにおいて情報発信を行う。			
事業の実績			
令和 4年度 観光 P R 回数		1回・年／2回	River to Summit2023
令和 3年度 観光 P R 回数		1回・年／2回	River to Summit2022
令和 2年度 観光 P R 回数		0回・年／2回	新型コロナウイルス感染症の影響により事業なし
令和元年度 観光 P R 回数		1回・年／2回	中山道17宿歩き旅
平成30年度 観光 P R 回数		1回・年／2回	中山道17宿歩き旅
平成29年度 観光 P R 回数		2回・年／2回	O K B 会館、かも1グランプリ
平成28年度 観光 P R 回数		3回・年／3回	刈谷ハイウェイオアシス、名古屋城、かも1グランプリ
平成26年度 観光 P R 回数		3回・年／3回	オアシス 2 1、中ビル、湯の華アイランド
事業の成果指標		事業の目標値	
		単位	
		R06 年度末	
		R07 年度末	
		R08 年度末	
R06 年度の到達目標（課題・改善策等）			

事務事業評価の結果（1 次）	—	R06 年度の計画額	0 千円
事務事業評価の結果（2 次）	—	R06 年度の上限額	0 千円
<特記事項>			

【評価】 A 拡充・重点化 B 計画の承認 C 見直し・縮小 D 整理・統合 E 休止・廃止 — 評価なし

会計区分	01	一般会計		令和 6 年度 事務事業調書						事業主体	11010000	企画課 企画係		
大事業 C D	34	(目標)	—					中事業 C D	01	(施策)	—			
		(政策)	—							(主要な取り組み)	—			
小事業 C D	01	多文化交流・啓発事業				事業年度	R03 ～ R12		成果目標	☐ 成果目標がある	成果指標	—		
款項目	02	総務費	01	総務管理費	08	企画費	小事業区分	新規・継続		☒ 成果目標がない	目標値	—		目標年度

(単位：千円)												
	R 0 6 年度 予算要求額	当 該 年 度 の 事 業 詳 細 等					前年度(05 年度) 当初予算額	04年度 決算額				
○ 経 費 計	516	外国人向け教室や料理教室を開催する					533	439				
1 報酬		R 6 年度も、みのかも定住自立圏の事業として日本語教室を行う。 (美濃加茂市、坂祝町、富加町、川辺町の事業)										
2 ～4給料手当等												
5 災害補償費												
7 報償費	471						488	365				
8 旅費												
9 交際費												
10 需用費	30						30	67				
1 消耗品費	30						30	67				
2 燃料費												
3 食糧費												
4 印刷製本費												
5 光熱水費												
6 修繕料												
その他												
11 役務費	15						15	7				
12 委託料												
13 使賃料												
14 工事請負費												
15 原材料費												
16 公財購												
17 備品購入費												
18 負補交												
19 扶助費												
20 貸付金												
21 補てん賠												
22 償利割												
23 投資出資金												
24 積立金												
25 寄附金												
26 公課費												
27 繰出金												

○ 財 源 計	516	基準額・補助率・歳入科目コード等	533	
1 国庫支出金				
2 県支出金				
3 町債				
4 その他特財	24		24	
5 一般財源	492		509	

事業の目的（何をどのような状態にしたいのか）		
【★ 7 次総 6103】（地域間交流・多文化共生）「多文化共生社会づくりに向けた意識啓発・相互理解の推進」		
相互の文化や生活習慣などの理解を深めるため、交流機会の創出や情報提供を行う。		
事業の概要		
定住外国人自立支援センターが中心となり、外国人向けの日本語教室の開催をしながら、多文化共生のための意識啓発や住民相互の理解を深める。		
事業の実績		
令和 4 年度 ひらがなカタカナ2回 漢字10回 文法10回 単語10回 令和 3 年度 生活の日本語教室6回 職場で役立つ日本語教室10回 検定向け日本語教室10回 令和 2 年度 文化庁補助事業 親子で学ぶ日本語10回 生活の日本語8回 多読で学ぶ日本語8回 職場で役立つ日本語10回 コーディネーター研修8回 指導者研修4回 令和元年度 文化庁補助事業 仕事の日本語23回、生活の日本語8回、養成講座13回 平成30年度 外国人ママ向けお弁当講座 1回 外国人向け料理講座 2回 日本人サポーター養成講座 5回 平成29年度 外国人ママ向けお弁当講座 1回 外国人向け料理講座 2回 日本人サポーター養成講座 5回 平成28年度 外国人ママ向けお弁当講座 1回 外国人向け料理講座 1回 日本人サポーター養成講座 4回		
事業の成果指標		事業の目標値
		単 位
		R06 年度末
		R07 年度末
		R08 年度末
R06 年度の到達目標（課題・改善策等）		
外国では弁当づくりの文化がない。弁当作りを通じて、仲間意識やさまざまな交流ができたが、外国籍住民だけでなく、ワールドカフェなど日本人と外国籍住民との交流の機会も必要ではないかと感じている。自立支援センター職員と相談し、企画開催していきようにする。 また、就労支援や放課後教室につなげられるよう、日本語教室開設を目指していく。		

事務事業評価の結果（1 次）	—	R06 年度の計画額	0 千円
事務事業評価の結果（2 次）	—	R06 年度の上限額	0 千円
<特記事項>			

【評価】 A 拡充・重点化 B 計画の承認 C 見直し・縮小 D 整理・統合 E 休止・廃止 ー 評価なし

会計区分	01	一般会計		令和 6 年 度 事 務 事 業 調 書						事業主体	11010000	企画課 企画係			
大事業 C D	41	(目標)	-					中事業 C D	12	(施策)	-				
		(政策)								(主要な取り組み)					
小事業 C D	02	地域活性化補助事業				事業年度	R03 ~ R12		成果目標	■ 成果目標がある		成果指標	地域活性化補助金支給件数		
款項目	02	総務費	01	総務管理費	08	企画費	小事業区分	新規・継続		□ 成果目標がない		目標値	5	目標年度	令和12年度

(単位：千円)

	R 0 6 年度 予算要求額	当 該 年 度 の 事 業 詳 細 等	前年度(05 年度) 当初予算額	04年度 決算額
○ 経 費 計	300	地域活性化補助金の支払い	300	200
1 報酬		補助額 事業費の1/2、上限100,000円以内		
2 〜4給料手当等				
5 災害補償費				
7 報償費		大針御祭り保存会 3回目		
8 旅費		つくみ食堂「ほのぼの」4回目		
9 交際費		加茂山愛花倶楽部 終了		
10 需用費		黒岩祭囃子保存会 終了		
1 消耗品費				
2 燃料費				
3 食糧費				
4 印刷製本費				
5 光熱水費				
6 修繕料				
その他				
11 役務費				
12 委託料				
13 使賃料				
14 工事請負費				
15 原材料費				
16 公財購				
17 備品購入費				
18 負補交	300		300	200
19 扶助費				
20 貸付金				
21 補てん賠				
22 償利割				
23 投資出資金				
24 積立金				
25 寄附金				
26 公課費				
27 繰出金				

○ 財 源 計	300	基準額・補助率・歳入科目コード等	300	
1 国庫支出金				
2 県支出金				
3 町債				
4 その他特財				
5 一般財源	300		300	

事業の目的（何をどのような状態にしたいのか）	
【★7次総 6303】（コミュニティ）「地域住民の自主的な地域活性化の支援」	
近年、地域住民間のコミュニティ希薄化するなか、協働のまちづくりの基本となる地域コミュニティの活性化に向け、地域の創意工夫による個性を生かした取組が必要となるため、地域住民が主体となって開催する活動や行事に対し支援を行う。	
事業の概要	
地域住民が主体となり、地域コミュニティを活性化させ、今後の住民主体のまちづくりにつなげる取組に対し支援を行う。	
【補足説明】24年度から新たなルールとして、同一団体への補助は原則5年間とすることとした。 ※「当該補助金を利用し、継続的な活動が可能となる団体等の育成を促す一助とするものである。」と交付要綱にあるため、補助金期間が終了した後でも継続が見込まれる団体とする。そのため、令和6年度から補助額は事業費の1／2以内、上限100,000円とする。	
事業の実績	
令和4年度	補助件数 2件
令和3年度	補助件数 5件
令和2年度	補助件数 5件
令和元年度	補助件数 4件
平成30年度	補助件数 5件
平成29年度	補助件数 4件
平成28年度	補助件数 3件
平成27年度	補助件数 4件
事業の成果指標	
地域活性化に資する地域活動・地域行事を実施する団体への補助件数	
事業の目標値	
単位	件／年度
R06 年度末	4
R07 年度末	4
R08 年度末	
R06 年度の到達目標（課題・改善策等）	
5回目到達団体の今後の支援について	

事務事業評価の結果（1次）	—	R06 年度の計画額	0 千円
事務事業評価の結果（2次）	—	R06 年度の上限額	0 千円
<特記事項>			

【評価】 A 拡充・重点化 B 計画の承認 C 見直し・縮小 D 整理・統合 E 休止・廃止 ー 評価なし

会計区分	01	一般会計		令和 6 年 度 事 務 事 業 調 書							事業主体	11010000	企画課 企画係		
大事業 C D	41	(目標)	-					中事業 C D	13	(施策)	-				
		(政策)								(主要な取り組み)					
小事業 C D	01	地区サポート事業				事業年度	R03 ~ R12		成果目標	■ 成果目標がある		成果指標	地区サポーターの自治会活動参加数		
款項目	02	総務費	01	総務管理費	08	企画費	小事業区分	新規・継続		□ 成果目標がない		目標値	20	目標年度	令和12年度

(単位：千円)

	R 0 6 年度 予算要求額	当 該 年 度 の 事 業 詳 細 等	前年度(05 年度) 当初予算額	04年度 決算額
○ 経 費 計	375	地区懇談会の開催を町から求めることがなくなり、職員のサポート実態がなくなりました。 コロナ禍において自治会活動も減少しました。 各自治会における困りごとは、困りごとの内容によって各課での対応とし、本事業を終了します。	0	0
1 報酬				
2 〜4給料手当等	375			
5 災害補償費				
7 報償費				
8 旅費				
9 交際費				
10 需用費				
1 消耗品費				
2 燃料費				
3 食糧費				
4 印刷製本費				
5 光熱水費				
6 修繕料				
その他				
11 役務費				
12 委託料				
13 使賃料				
14 工事請負費				
15 原材料費				
16 公財購				
17 備品購入費				
18 負補交				
19 扶助費				
20 貸付金				
21 補てん賠				
22 償利割				
23 投資出資金				
24 積立金				
25 寄附金				
26 公課費				
27 繰出金				

○ 財 源 計	375	基準額・補助率・歳入科目コード等	0
1 国庫支出金			
2 県支出金			
3 町債			
4 その他特財			
5 一般財源	375		

事業の目的（何をどのような状態にしたいのか）	
【★7次総 6402】（住民参画・協働）「地域活動の支援」 【★7次総 6503】（行政運営）「広聴機会の拡充」	
住民と町職員による協働のまちづくりを推進する。	

事務事業評価の結果（1 次）	－	R06 年度の計画額	0 千円
事務事業評価の結果（2 次）	－	R06 年度の上限額	0 千円
<特記事項>			

【評価】 A 拡充・重点化 B 計画の承認 C 見直し・縮小 D 整理・統合 E 休止・廃止 ー 評価なし

会計区分	01	一般会計		令和 6 年 度 事 務 事 業 調 書						事業主体	11010000	企画課 企画係		
大事業 C D	41	(目標)		—				中事業 C D	21	(施策)		—		
		(政策)		—						(主要な取り組み)		—		
小事業 C D	02	ホームページ運営事業				事業年度	R03 ~ R12		成果目標	☐ 成果目標がある		成果指標	—	
款項目	02	総務費	01	総務管理費	02	文書広報費	小事業区分	新規・継続		☒ 成果目標がない		目標値	—	目標年度

(単位：千円)

	R 0 6 年度 予算要求額	当 該 年 度 の 事 業 詳 細 等	前年度(05 年度) 当初予算額	04年度 決算額
○ 経 費 計	2, 060	町ホームページの管理委託料	2, 227	2, 014
1 報酬		人口・緊急情報入力に係るスタートボタンがトップページに隠されており、一般ユーザーでも見つけられれば簡単に触れてしまう恐れがあるため、更新方法を変更する。(セキュリティの向上)		
2 〜4給料手当等				
5 災害補償費				
7 報償費				
8 旅費				
9 交際費				
10 需用費				
1 消耗品費				
2 燃料費				
3 食糧費				
4 印刷製本費				
5 光熱水費				
6 修繕料				
その他				
11 役務費				
12 委託料	2, 060		2, 227	2, 014
13 使賃料				
14 工事請負費				
15 原材料費				
16 公財購				
17 備品購入費				
18 負補交				
19 扶助費				
20 貸付金				
21 補てん賠				
22 償利割				
23 投資出資金				
24 積立金				
25 寄附金				
26 公課費				
27 繰出金				

○ 財 源 計	2, 060	基準額・補助率・歳入科目コード等	2, 227	
1 国庫支出金				
2 県支出金				
3 町債				
4 その他特財	108	バナー広告料収入	72	
5 一般財源	1, 952		2, 155	

事業の目的（何をどのような状態にしたいのか）			
【★ 7 次総 6501】（行政運営）「ITを利用した情報提供体制の整備」			
ホームページの内容の充実に努め、町情報の提供体制を整備する。 また、一方で高齢者や障がい者、子どもなど、誰に対してもわかりやすく、見やすいものにする。			
事業の概要			
町ホームページを活用し、わかりやすい最新情報をより多くの住民に向けて発信する。			
事業の実績			
4年度	月平均アクセス数	37, 939PV	
	新規ページ作成	8件	
3年度	月平均アクセス数	53, 334PV	
	新規ページ作成	5件	
2年度	月平均アクセス数	54, 683PV	
	新規ページ作成	5件	
元年度	月平均アクセス数	53, 218PV	
	新規ページ作成	8件	
事業の成果指標		事業の目標値	
		単位	
		R06 年度末	
		R07 年度末	
		R08 年度末	
R06 年度の到達目標(課題・改善策等)			

事務事業評価の結果（1 次）	—	R06 年度の計画額	0 千円
事務事業評価の結果（2 次）	—	R06 年度の上限額	0 千円
<特記事項>			

【評価】 A 拡充・重点化 B 計画の承認 C 見直し・縮小 D 整理・統合 E 休止・廃止 — 評価なし

会計区分	01	一般会計		令和 6 年 度 事 務 事 業 調 書							事業主体	11010000	企画課 企画係		
大事業 C D	41	(目標)		—				中事業 C D	22	(施策)		—			
		(政策)		—						(主要な取り組み)		—			
小事業 C D	01	広報活動事業				事業年度	R03 ~ R12		成果目標	☐ 成果目標がある		成果指標	—		
款項目	02	総務費	01	総務管理費	02	文書広報費	小事業区分	新規・継続		☒ 成果目標がない		目標値	—		目標年度

(単位：千円)									
	R 0 6 年度 予算要求額	当 該 年 度 の 事 業 詳 細 等					前年度(05 年度) 当初予算額	04年度 決算額	
○ 経 費 計	2, 354	町広報紙の印刷製本費 (年 1 2 回発行)					5, 082	2, 615	
1 報酬		広報紙の郵送代、その他消耗品費							
2 〜4給料手当等									
5 災害補償費		広報紙印刷製本に係る業者委託が令和 5 年度締結したため、印刷製本費が減額。							
7 報償費									
8 旅費									
9 交際費		坂祝町 P R 動画撮影を令和 5 年度に実施し、令和 6 年度は事業を行わないため委託料が減額しました。							
10 需用費	2, 303						3, 371	2, 572	
1 消耗品費	32						26	18	
2 燃料費									
3 食糧費									
4 印刷製本費	2, 271						3, 345	2, 554	
5 光熱水費									
6 修繕料									
その他									
11 役務費	36						46	28	
12 委託料							1, 650		
13 使賃料									
14 工事請負費									
15 原材料費									
16 公財購									
17 備品購入費									
18 負補交	15						15	15	
19 扶助費									
20 貸付金									
21 補てん賠									
22 償利割									
23 投資出資金									
24 積立金									
25 寄附金									
26 公課費									
27 繰出金									

○ 財 源 計	2, 354	基準額・補助率・歳入科目コード等	5, 082	
1 国庫支出金				
2 県支出金	208	県広報配布補助金	1, 013	
3 町債				
4 その他特財	15	広報紙広告収入	15	
5 一般財源	2, 131		4, 054	

事業の目的 (何をどのような状態にしたいのか)									
【★ 7 次総 6502】 (行政運営) 「広報紙の充実」									
「広報さかほぎ」の内容の充実を図るとともに、より多くの世帯に配布することで、情報提供の充実を図る。また、町内の大型店舗の協力を得て店内に広報紙ラックを設置し、町の情報提供の充実を図る。									
事業の概要									
「広報さかほぎ」を月 1 回発行する。広報紙は町の情報提供媒体のひとつとして、ホームページなどとあわせて、坂祝町のさまざまな情報を提供する。また、一方で高齢者や障がい者、子どもなど、誰に対してもわかりやすく、見やすい広報を行うことも大切であり、従来からの自治会掲示板や回覧板を活用した、地域に身近なところで情報を入手できる環境づくりを充実する。									
事業の実績									
4年度広報さかほぎ発行部数 2, 500部/月/目標指標 2, 500部/月 3年度広報さかほぎ発行部数 2, 500部/月/目標指標 2, 500部/月 2年度広報さかほぎ発行部数 2, 500部/月/目標指標 2, 650部/月 1年度広報さかほぎ発行部数 2, 500部/月/目標指標 2, 650部/月 30年度広報さかほぎ発行部数 2, 500部/月/目標指標 2, 650部/月 29年度広報さかほぎ発行部数 2, 500部/月/目標指標 2, 650部/月 28年度広報さかほぎ発行部数 2, 500部/月/目標指標 2, 650部/月 26年度広報さかほぎ発行部数 2, 500部/月/目標指標 2, 650部/月									
事業の成果指標									
								事業の目標値	
								単位	
								R06 年度末	
								R07 年度末	
								R08 年度末	
R06 年度の到達目標 (課題・改善策等)									
広報さかほぎ発行部数 2, 500部/月									

事務事業評価の結果 (1 次)	—	R06 年度の計画額	0 千円
事務事業評価の結果 (2 次)	—	R06 年度の上限額	0 千円
<特記事項>			

【評価】 A 拡充・重点化 B 計画の承認 C 見直し・縮小 D 整理・統合 E 休止・廃止 ー 評価なし

会計区分	01	一般会計		令和 6 年 度 事 務 事 業 調 書						事業主体	11010000	企画課 企画係		
大 事 業 C D	42	(目標)		-			中 事 業 C D	01	(施策)		-			
		(政策)							(主要な取り組み)					
小 事 業 C D	01	定住自立圏構想推進事業				事業年度	R03 ~ R12	成果目標	■ 成果目標がある		成果指標	「みのかも定住自立圏」での連携事業数		
款項目	02	総務費	01	総務管理費	08	企画費	小事業区分		新規・継続	□ 成果目標がない		目標値	2	目標年度

(単位：千円)

	R O 6 年度 予算要求額	当 該 年 度 の 事 業 詳 細 等	前年度(05 年度) 当初予算額	04年度 決算額
○ 経 費 計	7, 351	19 負担金	7, 343	6, 123
1 報酬		定住自立圏構想推進事業負担金		
2 ～4給料手当等		下記①+②=6, 678, 555円		
5 災害補償費				
7 報償費		【重点事業】 473, 148円…①		
8 旅費		・ 24時間電話相談窓口事業 382, 119円		
9 交際費		・ 情報の多言語化、発信の支援事業事務費 2, 229円		
10 需用費		(事業費は担当で計上)		
1 消耗品費		・ のぞみ教室推進事業 88, 800円		
2 燃料費		(人件費は担当課で計上)		
3 食糧費		【基本事業】 6, 205, 407円…②		
4 印刷製本費		・ 里山再生プロジェクト事業 3, 385, 000円		
5 光熱水費		・ 生物多様性地域連携促進事業 530, 821円		
6 修繕料		・ 地域情報放送事業 396, 000円		
その他		・ ファミリー・サポート・センター事業 291, 364円		
11 役務費		・ エリアサービスマップ事業 36, 694円		
12 委託料		・ 幼児療育支援事業 162, 662円		
13 使賃料		・ 図書システム広域利用事業 1, 022, 913円		
14 工事請負費		・ 生涯学習ホームページ構築事業 250, 111円		
15 原材料費		・ 男女共同参画推進事業 37, 064円		
16 公財購		・ 消費生活事業事務費 35, 700円		
17 備品購入費		(人件費は担当で計上)		
18 負補交	7, 351	・ みのかも定住自立圏推進事業（事務局費） 57, 078円	7, 343	6, 123
19 扶助費		・ Kisoジオパークにぎわい創出事業（産業建設課で計上）		
20 貸付金				
21 補てん賠				
22 償利割				
23 投資出資金				
24 積立金				
25 寄附金				
26 公課費				
27 繰出金				

○ 財 源 計	7, 351	基準額・補助率・歳入科目コード等	7, 343
1 国庫支出金			
2 県支出金			
3 町債			
4 その他特財		物販収入（夕雲の城）	
5 一般財源	7, 351		7, 343

事業の目的（何をどのような状態にしたいのか）			
【★ 7 次 総 6505】（行政運営）「定住自立圏構想の推進」			
定住自立圏構想に基づく協定締結市との各種事業の連携により、圏域全体の暮らしに必要な都市機能を集約的に整備するとともに、町において必要な生活機能を確認し、農林水産業の振興や豊かな自然環境の保全等を図るなど、互いに連携・協力することにより、圏域全体の活性化を図る。			
事業の概要			
「みのかも定住自立圏共生ビジョン」に基づき、圏域の市町村との連携のもと、事業の推進を図る。現在、教育分野では、生涯学習の相互協力や図書館の貸し出しなどの事業を連携により推進します。今後においても、連携分野を増やし各事業を推進する。			
事業の実績			
令和 5 年度	連携事業数	16事業	目標指数 20事業
令和 4 年度	連携事業数	14事業	目標指数 20事業
令和 3 年度	連携事業数	15事業	目標指数 20事業
令和 2 年度	連携事業数	16事業	目標指数 20事業
令和元年度	連携事業数	17事業	目標指標 20事業
平成30年度	連携事業数	18事業	目標指標 20事業
平成29年度	連携事業数	16事業	目標指標 20事業
平成28年度	連携事業数	16事業	目標指標 20事業
事業の成果指標		事業の目標値	
「みのかも定住自立圏」における坂祝町提案事業の連携事業数		単 位	事業
		R06 年度末	1
		R07 年度末	1
		R08 年度末	
R06 年度の到達目標（課題・改善策等）			

事務事業評価の結果（1 次）	－	R06 年度の計画額	0 千円
事務事業評価の結果（2 次）	－	R06 年度の上限額	0 千円
<特記事項>			

【評価】 A 拡充・重点化 B 計画の承認 C 見直し・縮小 D 整理・統合 E 休止・廃止 ー 評価なし

会計区分	01	一般会計						令和 6 年度 事務事業調書				事業主体	11010000	企画課 企画係	
大 事 業 C D	42	(目標)	-						中 事 業 C D	03	(施策)	-			
		(政策)									(主要な取り組み)				
小 事 業 C D	01	官学連携事業					事業年度	R03 ~ R12		成果目標	☒ 成果目標がある	成果指標	官学連携事業数		
款項目	02	総務費	01	総務管理費	08	企画費	小事業区分	新規・継続	☐ 成果目標がない		目標値			目標年度	令和12年度

	R 0 6 年度 予算要求額	当 該 年 度 の 事 業 詳 細 等	前年度(05 年度) 当初予算額	04年度 決算額
○ 経 費 計	101	大学等と連携し、行政だけではできない事業を行う (岐阜協立大学、中日本自動車短期大学、岐阜大学等)	100	17
1 報酬		講師謝金、費用弁償、消耗品費を計上		
2 〜4給料手当等		※ただし継続的に各課事業で実施するもの（事業課で位置づけ があるもの）は、事業課で予算計上		
5 災害補償費				
7 報償費	76		76	15
8 旅費	19		19	2
9 交際費				
10 需用費	6		5	
1 消耗品費	6		5	
2 燃料費				
3 食糧費				
4 印刷製本費				
5 光熱水費				
6 修繕料				
その他				
11 役務費				
12 委託料				
13 使賃料				
14 工事請負費				
15 原材料費				
16 公財購				
17 備品購入費				
18 負補交				
19 扶助費				
20 貸付金				
21 補てん賠				
22 償利割				
23 投資出資金				
24 積立金				
25 寄附金				
26 公課費				
27 繰出金				

○ 財 源 計	101	基準額・補助率・歳入科目コード等	100	
1 国庫支出金				
2 県支出金				
3 町債				
4 その他特財				
5 一般財源	101		100	

事業の目的（何をどのような状態にしたいのか）	
【★7次総 6507】（行政運営）「官学連携の推進」	
町が策定する各計画や、まちづくりや地域おこしに取り組んでいく住民活動（ボランティア団体やNPO）に対して、官学連携に基づきその知識・技術の提供を受け、住民活動の拡充又は坂祝町のまちづくり及び地域の活性化を図る。	
事業の概要	
町が作成する各計画の策定に関する助言等の提供や委員会への参画を通じ、地域課題の解決に向けた活動、地域人材の育成や地域振興を推進等、多様な分野で包括的に緊密な協力関係を築き、持続的・発展的に連携を深める。	
事業の実績	
令和05年度（見込み） 連携事業数 5事業 （公共交通、教育3（小中あり方検討、教育委員会評価、小学校SDGs）、水道審議会） 目標指数4事業 令和04年度 連携事業数 2事業（公共交通、教育）／目標指数 3事業 ※R3.10月岐阜大学との連携協定の締結 連携事業の見直し 令和03年度 連携事業数 0回／目標指数 4回 ※新型コロナウイルス感染症の影響により中止 令和02年度 連携事業数 0回／目標指数 4回 ※新型コロナウイルス感染症の影響により中止 令和元年度 連携事業数 1回／目標指数 4回 平成30年度 連携事業数 2回／目標指標 4回	
事業の成果指標	事業の目標値
官学連携で実施した事業数	単位 事業／年度
	R06 年度末 1
	R07 年度末 1
	R08 年度末
R06 年度の到達目標（課題・改善策等）	
連携事業数 6事業 課題：委員委嘱以外での連携事業の模索	

事務事業評価の結果（1 次）	—	R06 年度の計画額	0 千円
事務事業評価の結果（2 次）	—	R06 年度の上限額	0 千円
<特記事項>			

【評価】 A 拡充・重点化 B 計画の承認 C 見直し・縮小 D 整理・統合 E 休止・廃止 ー 評価なし

会計区分	01	一般会計		令和 6 年度 事務事業調書							事業主体	11010000	企画課 企画係		
大事業 C D	42	(目標)	—					中事業 C D	14	(施策)	—				
		(政策)	—							(主要な取り組み)	—				
小事業 C D	01	公会計制度対応事業					事業年度	R03 ~ R12	成果目標	☐ 成果目標がある	成果指標	—			
款項目	02	総務費	01	総務管理費	01	一般管理費	小事業区分	新規・継続		☒ 成果目標がない	目標値	—		目標年度	—

(単位：千円)

	R 0 6 年度 予算要求額	当 該 年 度 の 事 業 詳 細 等	前年度(05 年度) 当初予算額	04年度 決算額
○ 経 費 計	1, 970	総務省改訂モデルによる財務書類は平成28年度（平成27年度決算分）まで終了し、平成29年度（平成28年度決算分）から統一基準による財務書類を作成	1, 860	1, 860
1 報酬				
2 ～4給料手当等				
5 災害補償費				
7 報償費		システム（P P P）は平成28年度に総務課財政担当において導入済。財務書類作成支援業務を会計事務所に委託		
8 旅費				
9 交際費				
10 需用費		財務書類作成に伴うセグメント分析支援業務（施設別行政コスト計算書作成）を委託します。		
1 消耗品費				
2 燃料費				
3 食糧費				
4 印刷製本費				
5 光熱水費				
6 修繕料				
その他				
11 役務費	1		1	1
12 委託料	1, 969		1, 859	1, 859
13 使賃料				
14 工事請負費				
15 原材料費				
16 公財購				
17 備品購入費				
18 負補交				
19 扶助費				
20 貸付金				
21 補てん賠				
22 償利割				
23 投資出資金				
24 積立金				
25 寄附金				
26 公課費				
27 繰出金				

○ 財 源 計	1, 970	基準額・補助率・歳入科目コード等	1, 860
1 国庫支出金			
2 県支出金			
3 町債			
4 その他特財			
5 一般財源	1, 970		1, 860

事業の目的（何をどのような状態にしたいのか）		
【★7次総6602】（財政運営）「効率的な財政運営」		
総務省が示す「統一的な基準による財務書類」を作成し、町の現在の状況を把握・分析し、より透明性の高い財政状況や資産・負債の状況などを示し、説明責任を果たしていく。 また、将来に渡っての公共施設などの管理において活用し、適正な維持管理が行えるようにしていく。		
事業の概要		
平成23年度より行ってきた「総務省改訂モデル」による財政状況の公表を平成29年度より「統一的な基準による財務諸表」に切り替え、一般会計のみならず特別会計・企業会計との「全体財務書類」、一部事務組合などの財務状況も取り込んだ「連結財務書類」の作成・公表を行う。 令和5年度より事務移管のため企画課にて実施		
事業の実績		
R04年度実績統一基準財務書類公表 R03年度実績統一基準財務書類公表 R02年度実績統一基準財務書類公表 R01年度実績統一基準財務書類公表 ※下水道事業会計の連結開始 H30年度実績統一基準財務書類公表 ※農集・下水は公営企業会計移行の集中取組期間のため連結なし H29年度実績統一基準財務書類公表 ※農集・下水は公営企業会計移行の集中取組期間のため連結なし H28年度実績連結財務4表公表 ※農集・下水は公営企業会計移行の集中取組期間のため連結なし H27年度実績連結財務4表公表 ※農集・下水は公営企業会計移行の集中取組期間のため連結なし		
事業の成果指標		事業の目標値
		単位
		R06 年度末
		R07 年度末
		R08 年度末
R06 年度の到達目標（課題・改善策等）		
統一基準による財務諸表の作成・公表も年度を重ね、年内（12月末）を目途に作成できるベースとなってきた。 今後は、分析を含め、財政当局と協力しながら、システムによる多様なデータを活用出来るよう活用方法について検討していく。		

事務事業評価の結果（1 次）	—	R06 年度の計画額	0 千円
事務事業評価の結果（2 次）	—	R06 年度の上限額	0 千円
<特記事項>			

【評価】 A拡充・重点化 B計画の承認 C見直し・縮小 D整理・統合 E休止・廃止 ー評価なし

会計区分	01	一般会計		令和 6 年度 事務事業調書						事業主体	11010000	企画課 企画係		
大事業 C D	51	(目標)	—					中事業 C D	11	(施策)	—			
		(政策)	—							(主要な取り組み)	—			
小事業 C D	10	企画総務事務経費					事業年度	R03 ~ R12	成果目標	☐ 成果目標がある	成果指標	—		
款項目	02	総務費	01	総務管理費	08	企画費	小事業区分	新規・継続		☒ 成果目標がない	目標値	—		目標年度

(単位：千円)												
	R O 6 年度 予算要求額	当 該 年 度 の 事 業 詳 細 等					前年度(05 年度) 当初予算額	04年度 決算額				
○ 経 費 計	28,197	企画課職員人件費					33,050	33,432				
1 報酬		フォークリフト点検費、運転講習料、保険料										
2 〜4給料手当等	27,750	企画課消耗品費、郵送料					32,610	31,146				
5 災害補償費		その他企画課関係団体への負担金										
7 報償費												
8 旅費												
9 交際費												
10 需用費	205						229	162				
1 消耗品費	91						91	90				
2 燃料費	114						124	72				
3 食糧費												
4 印刷製本費												
5 光熱水費												
6 修繕料							14					
その他												
11 役務費	67						79	77				
12 委託料	92						99	2,014				
13 使賃料												
14 工事請負費												
15 原材料費												
16 公財購												
17 備品購入費												
18 負補交	83						33	33				
19 扶助費												
20 貸付金												
21 補てん賠												
22 償利割												
23 投資出資金												
24 積立金												
25 寄附金												
26 公課費												
27 繰出金												

○ 財 源 計	28,197	基準額・補助率・歳入科目コード等					33,050	
1 国庫支出金								
2 県支出金	44	N P O 法人設立の認証等の事務交付金					77	
3 町債								
4 その他特財								
5 一般財源	28,153						32,973	

事業の目的（何をどのような状態にしたいのか）			
【★ 7 次総 6506】（行政運営）「近隣市町村との連携強化」			
総務課企画係の一般事務経費を支出する。			

